

新音楽学部棟の建設場所

■ 建設場所の条件

- ① 現在のキャンパスの景観を守るように、中央広場から見えにくい東側の斜面地に配置する。
- ② 当面、既設のまま利用する現奏楽堂・管打校舎とのつながり、楽器の移動を考慮し、特に奏楽堂に近い位置に配置する。
- ③ 工事中の騒音・振動が既設校舎で行われる授業・レッスン・演奏に影響しないよう配慮し、近接した配置を避ける。

■ 基本設計時の建物配置の配慮事項

景観要素

- ① キャンパスのアプローチから東側緑地への視線の抜けをつくる
アプローチ道路の突き当たりを建物の壁でふさがないように高さを低く抑え、東側緑地の景色が見えるように玄関と、3層吹き抜けのロビーを配置しています。
- ② キャンパス中央広場から東への眺望をふさがない
現在のキャンパス中央広場から東側丘陵に向かって、中央の谷越しに広がるのびやかな景観を大切にすよう、新音楽学部棟の高さは管理棟よりも高くないように低く抑え、北側へ寄せた配置としています。

環境要素

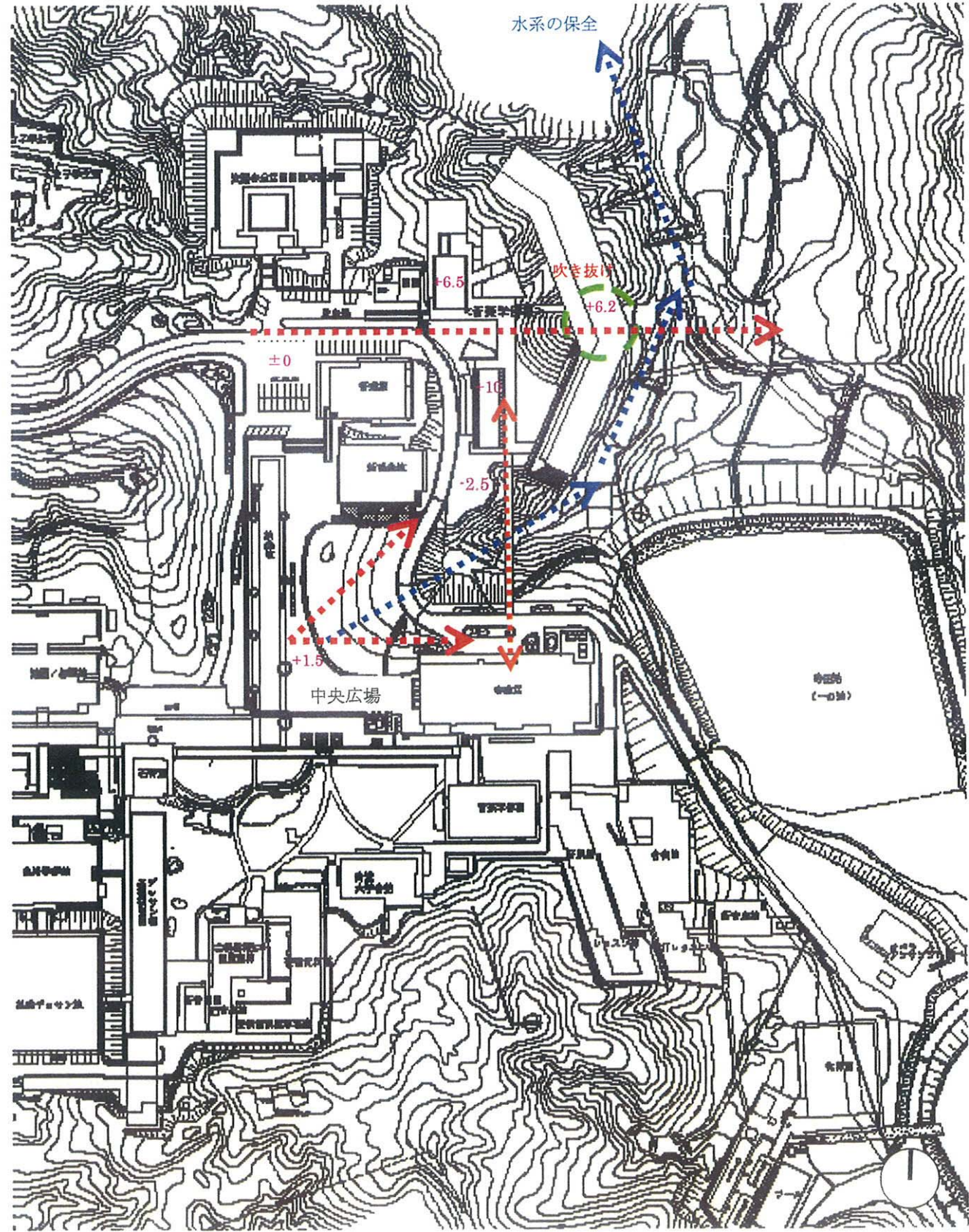
- ① 奏楽堂との間の谷筋をふさがずに水系を保全
中央の谷筋はキャンパス中央広場から東へ流れ、一之池から北へ流れる谷につながっています。この水系を避けて建物を配置しています。
- ② 現地形を守る
現状地形をできる限り守り、大きな造成を行わないように斜面に沿って建物を配置し、高床式の構造としています。



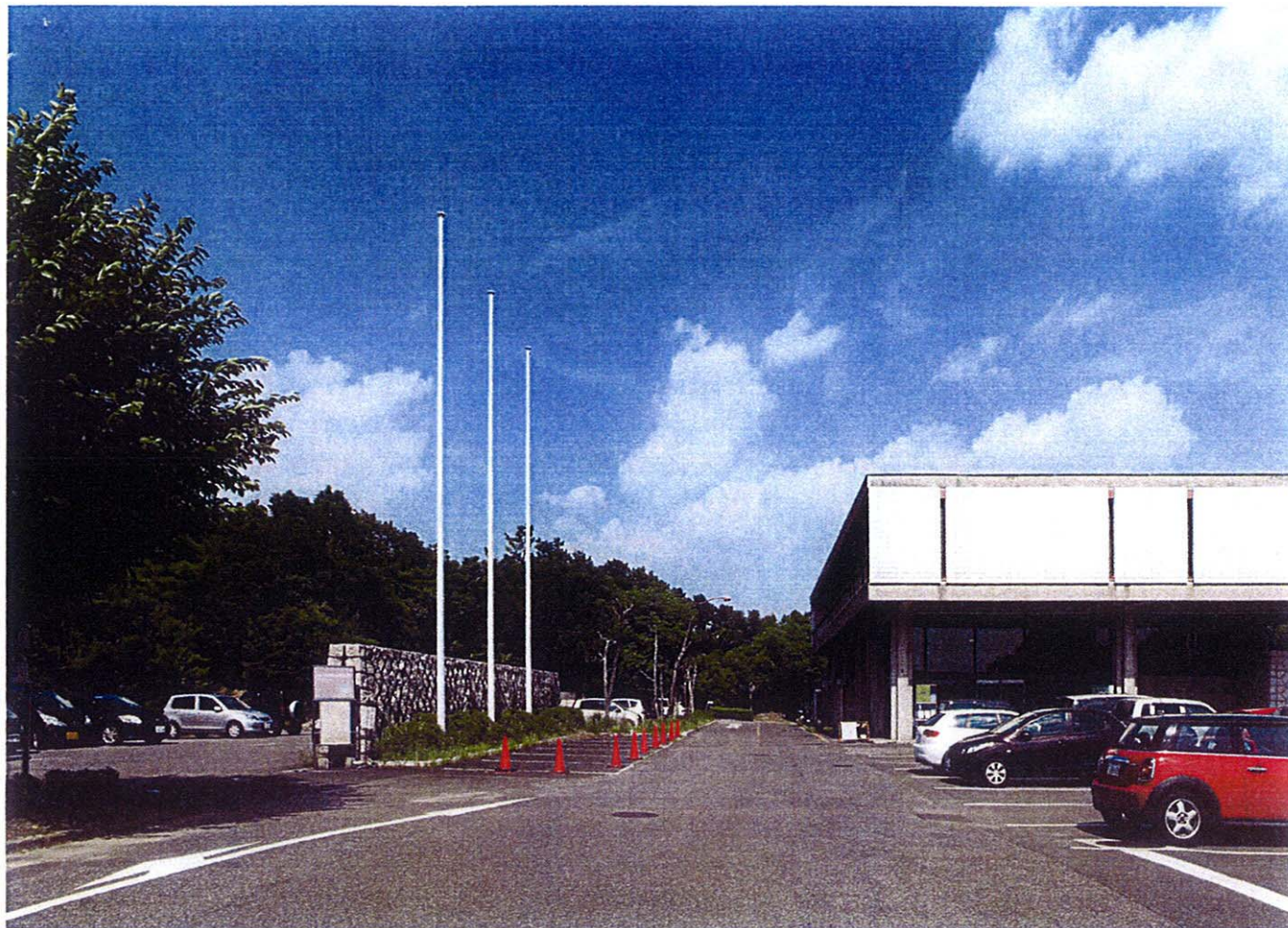
キャンパスアプローチからの景観



キャンパス中央広場から東への景観



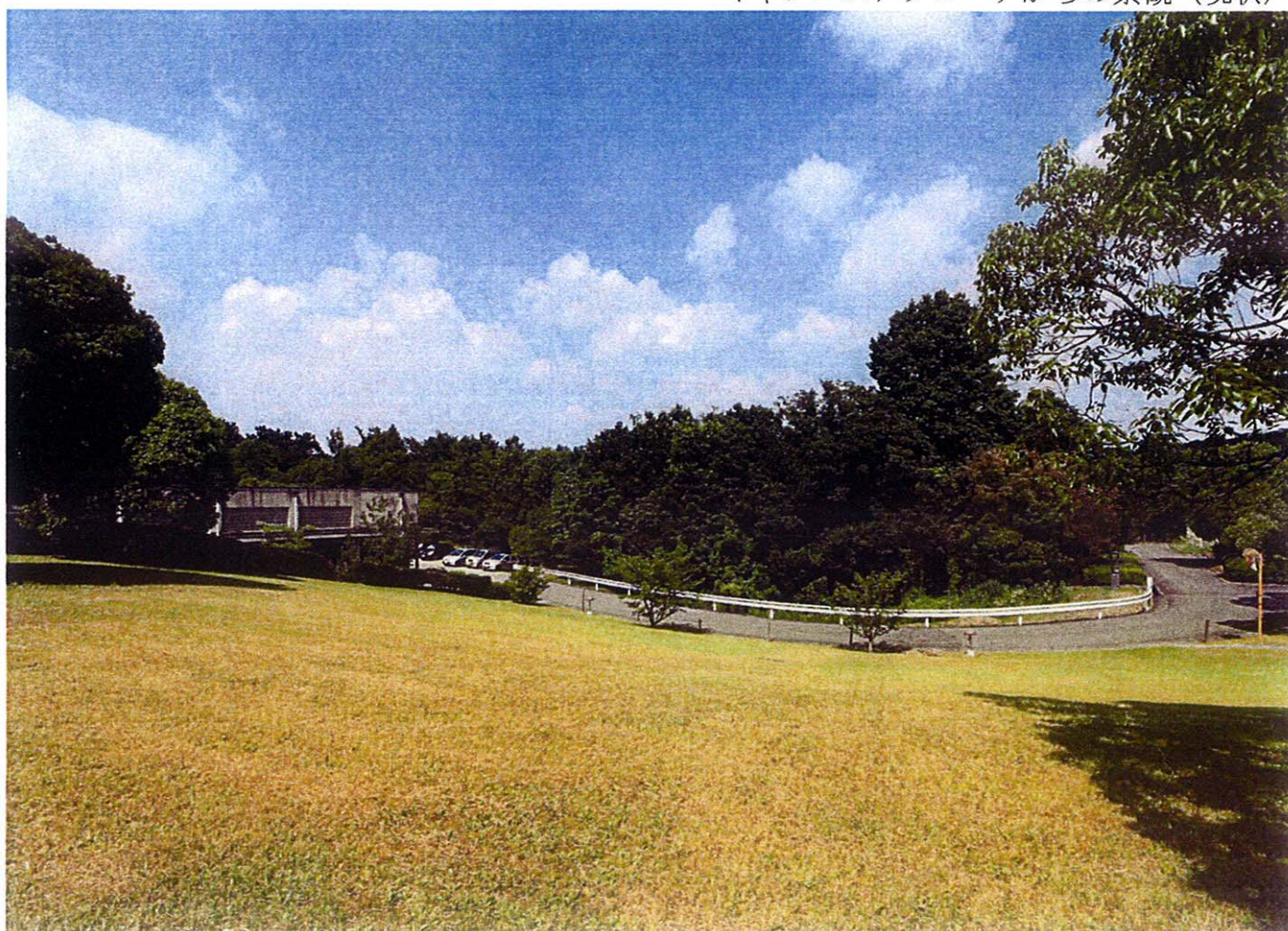
新音楽学部棟基本設計配置計画図



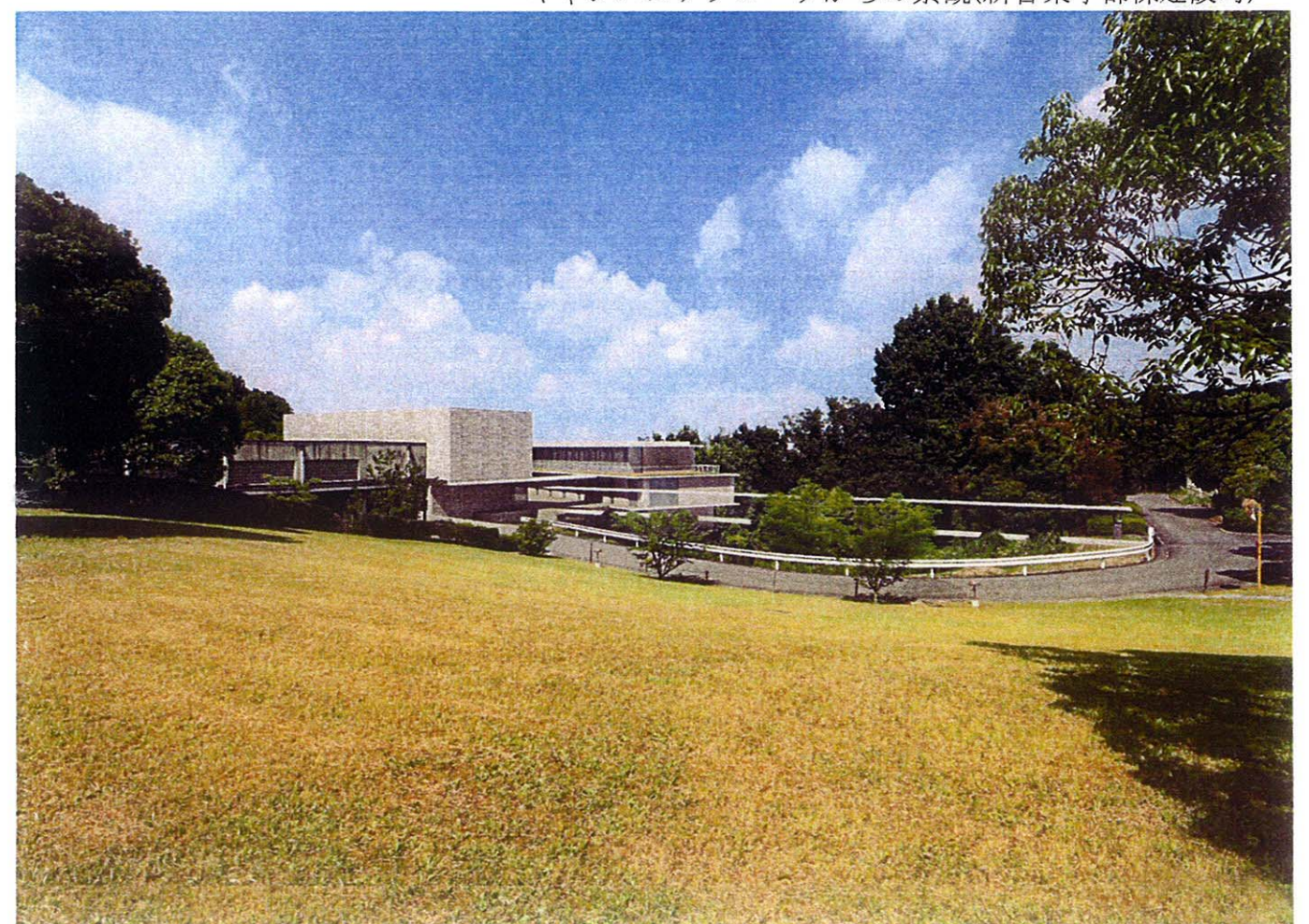
キャンパスアプローチからの景観（現状）



キャンパスアプローチからの景観(新音楽学部棟建設時)



キャンパス広場から東への景観（現状）



キャンパス広場から東への景観（新音楽学部棟建設時）

